

下水道技術ビジョン・ロードマップの改定について

◆ 下水道技術ビジョンの見直しについて

- ◆ 下水道技術ビジョンでは、その見直しに関して「定期的に見直し、地方公共団体のニーズに見合った技術開発や、中長期的に重要な技術的課題を解決するための研究開発を反映した内容に更新する」(同ビジョン3.4より)とされており、定期的・機動的な見直しが必要
- ◆ これまでの下水道技術開発会議において、技術ビジョン・ロードマップの見直し、改定の方法について議論し、次の2つの分類により見直しを行うこととした
 - ◆ (1)「中期目標達成のための課題」「技術目標」
 - … 新下水道ビジョン以降の社会的な変化等に応じて見直し
 - ◆ (2)「技術開発項目」
 - … (1)に伴う見直しに加えて、関連企業・大学・研究所、その他団体からの意向を踏まえて必要な修正

下水道技術ビジョン・ロードマップの改定について 技術開発項目の見直しの判定方法

◆ H28第1回会議において、以下の方法で判定の上、見直しを行うこととされた

- ◆ 提案があったロードマップの「技術開発項目」については、当会議で毎年度審議のうえ、一定の要件を満たしていればロードマップに反映する
- ◆ 以下の要件に照らして、当会議でロードマップ技術開発項目の見直しについて判定する

下水道技術ビジョン・ロードマップにおける技術開発項目の見直しに必要な要件は、以下のいずれかを満たしていると認められるものとする。なお、見直しがロードマップ全体のバランスを損ない、不整合を生じさせるものでないことが必要である。

- ① 見直し事項が、現下の下水道事業主体である地方公共団体のニーズに見合ったものであること
- ② 国内の事業主体へのニーズは現状では高くないが、国外への技術展開が広く期待されること
- ③ 現状では国内の事業主体や海外でのニーズが高くはないが、社会情勢、行政動向を踏まえると、今後、早急に解決することが必要な技術課題であること
- ④ 現状では国内の事業主体や海外でのニーズが高くはないが、中長期的に下水道の管理・運営上、重要な技術的課題となる可能性が高いこと
- ⑤ その他、会議において必要であると認められたものであること